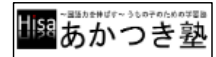


## 中学生コース紹介



### 【中学生コース時間割】

選択コース	コマ名	曜日	時間
・ 中学理系コース  ・ 中学文系コース	中学生タイム2-1	火曜日	19:00~20:25
	中学生タイム2-2		20:30~21:55
	中学生タイム4-1	木曜日	19:00~20:25
	中学生タイム4-2		20:30~21:55
	中学生タイム5-1	金曜日	19:00~20:25
	中学生タイム5-2		20:30~21:55
	中学生タイム7-1	日曜日	09:30~10:55
	中学生タイム7-2		11:00~12:25
	中学生タイム7-3		12:30~13:55
	中学生タイム7-4		17:00~18:25
	中学生タイム7-5		18:30~19:55
中学英語 学年別一斉授業	中1 英語授業	月曜日	20:00~21:00
	中2 英語授業		21:00~22:00
	中3 英語授業		19:00~20:00

### 【選択コース紹介】

コース	内容	推奨コマ
中学理系コース	<p>高校入試の数学の難問は中3後半の図形問題から出題されます。学校でその単元を習うのは10月~12月頃なので受験までに習熟する時間はありません。入試で数学を得点源にするためには、早めに中学範囲を終わらせ、入試レベルの問題に慣れていくこと。先取を進めることで、数学を得点源にすることができます。</p> <p>理科も、特に物理、化学は数学のような計算や思考力が必要なため、苦手にしている方も多いです。物理、化学についても「なぜそうなのか」の理解が重要です。</p> <p>思考力系教科は、仕組みが理解できれば得意にできる教科です。各自の理解度に応じて不足する情報を補足、丁寧な解説で理解を促し、豊富な演習量で定着を図ります。</p>	4
中学文系コース	<p>英語・国語を中心に、テスト前には社会も行います。</p> <p>【国語】 まず語彙力・漢字力を下地に日本語運用能力をじっくり時間をかけて涵養します。定期テスト前には教科書対応も行いますが、定期テストの成績は「教科書をどれだけ丹念に勉強したか」によるもので、真の「読む力」や「書く力」を測るものさしにはなりません。日本語運用能力と定期テスト得点力を区別しながら、国語の力(全教科の土台)を培います。</p> <p>【英語】 文法の基礎を重視します。「読む・書く」を固めつつ、リスニングにも対応します。英語の実力をつけるには、適切なテキストと十分な演習量が不可欠です。質量合わせて高得点を目指します。</p> <p>【社会】 単に暗記するのではなく、理解しながら覚える流れで指導をします。流れを理解しながら教科書を何回も読むことが基本です。定期テストでは範囲が決まっていますが、入試では理解を伴う知識を元に、資料やグラフの読み取る力が必要となります。地図・年表・資料集を読みこむ指導をします。</p>	2
中学英語 学年別一斉授業	<p>ニューホライズンを使用し、一から懇切丁寧に解説します。</p> <p>文法事項を中心に、日本人が英語を学ぶ際にもっとも効果的な方法で、理解を伴う英語授業を行います。</p>	1